



私たちちは、ぶれいす東京です。

<https://ptokyo.org/weare/>

私たちの活動を応援してください。あなたのアクションが誰かの力になります。



直接支援

当事者向けの活動

- HIV陽性者や周囲の人への相談提供
- ネスト・プログラム
同じ立場の人が安全に会える場の運営
パディ
- BUDDY派遣
訪問活動をするボランティアの派遣

予防・啓発

市民に向けた啓発活動

- HIV感染不安の電話相談
- イベントでの啓発活動
- Webサイトの運営
- メディアへの取材協力

研究・講師派遣

社会に向けた研究活動

- 研究活動
 - 薬物使用とメンタルヘルス
 - 職場とHIV検査
 - PrEPに関する調査
- 研修 / 講師派遣(学校、行政、地域など)

私たちも応援しています



市川 誠一

金城学院大学

私は、ぶれいす東京の活動を応援しています。
ぶれいす東京が設立された1994年、横浜では第10回国際エイズ会議が開かれ、まだ効果的な治療法はなく、感染者・患者を支援する環境もありませんでした。ぶれいす東京は、HIV陽性者、パートナーや家族への支援、そして感染不安を抱える人たちへの相談と、HIVと共に生きている人たちが必要とする活動を展開しました。これは、HIVをテーマにした基本的人権、平等性に基づいた公共性・公益性の高い活動です。私は、ぶれいす東京の活動の継続を応援しています。



大平 勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団 理事長

この度は、ぶれいす東京が、認定NPO法人として認められましたことにご祝詞を申し上げます。認定NPO法人になられたことは、その活動が社会から必要とされていることを証明されたことですので、責任も大きくなりますが、よりたくさんの応援が寄せられるにちがいありません。これまでのNPO法人より、税制上の優遇措置により寄附を促すことを得られることから、ぶれいす東京の活動支援が厚みを増して、HIV/AIDSの更なる社会貢献活動が活発化し、大いに期待をされる市民団体として新たな出発をされたことに敬意を表します。ぜひ、みなさま、応援しましょう。



長谷川 博史

日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス 理事

ぶれいす東京はHIV陽性者の支援を行う草の根の市民団体です。毎年数多くのHIV陽性者やその周辺の人々がその支援を受けています。しかし非営利団体として充実したサービスを提供し続けるには確かな経営基盤が必須です。ぶれいす東京の活動を支えるためには私たちの支援の気持ちと寄付が必要です。みんなでぶれいす東京の活動を支えて行きましょう。



高久 陽介

日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス 代表

私たちHIV陽性者の多くは、HIVであることを知られないように生活しています。一方、HIVを理由とした診療拒否や就労での不当な扱い等の差別が未だにあります。当事者が可視化されなければアリティは生まれない。伝えないとわからないのに、そこまで自分を肯定できない…このジレンマを超えるには、サポートとエンパワーワーが欠かせません。こうした重要なステップを担うぶれいす東京に、ぜひ皆様の支援をお願いします。



岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター長

世界でHIV/AIDSのコントロールがうまくいっている国や地域では、医療／行政／NPOの協同がうまくいっています。エイズ治療・研究開発センターは、ぶれいす東京と一緒に差別偏見のない社会、新規感染者のない社会を目指して活動しています。認定NPO法人ぶれいす東京へのサポート(ご寄付など)是非よろしくお願いいたします。



桜井 なおみ

一般社団法人CSRプロジェクト 代表理事

家族を含めた当事者支援を行う活動団体として、ぶれいす東京は、団体の設立以来、常に現場目線で社会と当事者の思いをつなぐ活動を展開されてきました。支援を必要とする人に直接届く活動ですから、安心して応援の寄付をしてください。最近はアジアを含めた国際的な活動も増えており、資金的には苦しい部分が多くあると思います。当事者、家族を孤独にさせないためにも、是非、応援してください。



沢田 貴志

医師・NPO 理事

誰にでも突然の病気や怪我、絶望したくなるような出来事は起こりえる。そんな時にそばに立って一緒に道を照らしだしてくれる人がいるかどうか。それによって社会の本質が見えてくるのではないか。温かみのある誰もが受け入れられる社会でいて欲しいから私はぶれいす東京を応援しています。みなさんもぜひ一緒に支えて下さい。



松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター

薬物問題を抱える方々の治療や回復支援は、HIVとセクシャルヘルスの問題を無視して行なうことはできません。そして、これらはいずれもその人の生き方そのものに深く根ざすものなので、それぞれの問題をバラバラに扱うではなく、すべて一緒に、その人の生活全般をまるごと支援する必要があります。

ぶれいす東京は、薬物やHIV、セクシャルヘルスの問題の相談対応はもとより、そうした問題に悩む方を孤立から救い出し、医療機関ではとうてい手が届かない、生活全般にわたるきめ細やかな支援を提供してくれています。ですから、都内で薬物依存症治療に従事する私にとっても、ぶれいす東京は重要な連携機関となっています。

ぶれいす東京の活動は、東京を多様性が尊重される、生き心地のよい街として発展させるうえで欠かせないものです。そして、このような貴重な活動を継続させるためには、みなさまからのご支援が必要です。

ぜひみなさまからのご賛同とご寄付をお待ち申し上げる次第です。

(順不同)

活動を支援していただくには

クレジットでの寄付(1回のみ、毎月定額)、銀行やゆうちょ銀行への振込による寄付、賛助会員になる、本やDVDなどで寄付する(チャリボン)など、さまざまな方法があります。

詳しくはWebサイトをご覗ください。



認定NPO法人 ぶれいす東京

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-11-5 三幸ハイツ 403

TEL 03-3361-8964(月~土 12-19時) / FAX 03-3361-8835

E-mail: office@ptokyo.org